

# JEEF通信 – 2022年度 会費・寄付金活用の取り組み –

公益社団法人日本環境教育フォーラム (JEEF:ジーフ) [<https://www.jeef.or.jp/>]



人を育てる、世界を変える。

## 日本環境教育フォーラム

<https://www.jeef.or.jp/>



### 誰ひとり取り残さない環境教育を提供するために



日本環境教育フォーラム (JEEF:ジーフ) は、昨年度設立30周年を迎えました。

- たくさんのステークホルダーと関わりながら創ってきたこれまでの30年。
- さらにたくさんの方と関わりながら創っていききたいこれからの30年。

JEEFは、新しい一歩を皆さまと一緒に踏み出していきます。

#### <基本姿勢>

私たちは、自然の魅力や自然の大切さを伝える「環境教育」をベースとしたアプローチによって、“自ら課題を見つけ、学び、考えて行動できる人”を育て、自然と人間が共生できる社会『持続可能な社会』の実現を目指しています。

様々な形で頂戴した**ご寄付**や**会費**を活用させていただくにあたり、私たちは身体的理由や経済的・地域的な理由などで、これまでJEEFのプログラムに参加する機会がなかった方々との出会いの場を増やし始めています。

この「JEEF通信」では、日常生活で不安やストレスを抱えている方たちに“ほっとする”あるいは“わくわくする”ような自然体験、社会体験、環境教育のプログラムを提供している様子をお伝えしています。

ぜひ、ご一読頂けましたら幸いに存じます。

# 活動方針

## すべての子どもが 心から自然とふれあえる社会をつくる

少子高齢化、都市化が進み、共働きや一人親世帯の増加等、近年の社会変化の中で子どもたちが地域で様々な自然体験・社会体験を日常的に積み重ねて成長していくという機会が減少しています。

わたしたちは、全国の自然学校等との協働により、子どもたちの健全な成長を支える「自然体験活動」を推進しています。自然の中で過ごす時間は、子どもたちの元気や活力をとり戻し、自ら考え行動する力を育む時間になります。

「たのしく、共に学びあう」ことをモットーに、質の高い環境教育プログラムを提供しています。



# 活動紹介

## 〔取り組み〕 バードウォッチング入門講座（小学生・親子）

日時：2022年5月29日（日）

場所：横浜市上郷・森の家（神奈川県）

協力：公益財団法人日本野鳥の会レンジャー

長く続いた「まん延防止等重点措置」が3月21日で解除になり、急遽、親子で自然とふれあえる楽しいイベントを企画することができないかと思い、横浜自然観察の森と上郷・森の家のご協力のもと、感染症対策を講じながら小学生親子8組16名を対象に望遠鏡を工作する時間や新緑の森で工作した望遠鏡を使ってバードウォッチングを楽しむ時間を設けました。

講座で鳴き声の聞き分け方を学んだことで、ガビチョウ、メジロ、ウグイス、カワセミなどなど9種類の野鳥に出会うことができました！ 久しぶりの屋外活動で、参加者もスタッフもワクワクの1日となりました。



望遠鏡を作ってみよう！



作った望遠鏡で野鳥観察！



# 活動 紹介

## 〔取り組み〕 北海道わくわくこどもキャンプ・秋（小学生）

日時：2022年9月17日（土）～19日（月）

場所：キトウシ森林公園

共催：NPO法人大雪山自然学校

一般募集に加えて、地域のNPOサポートセンターによる広報協力の下で、所謂社会的弱者とされるひとり親世帯、生活困窮世帯の子どもたち、小学1年生から6年生まで総勢17名が参加し、2泊3日のこどもキャンプに臨みました。

キャンプでは、子どもたちが「自分は落ち着いて無理なく安全に2泊3日を過ごせんんだ！」と自信をもって色々なことにチャレンジできるようになることを目指しました。

薪割りや焚火、羽釜を使ったご飯づくりや馬の世話など、様々な体験を通して、キャンプに慣れている子どもたちが初参加の子どもたちに手取り足取り教える様子や、みんなで協力してご飯の準備をするなど、個性・自主性に加えて協調性を育てていく場面が多く見られました。

「自己肯定感が低い」と事前に保護者から聞いていた子、支援学級に通っている子、不安を和らげるお薬を飲んでいる子など、様々な子どもが参加しましたが、どの子も落ち着いていてのびのび過ごしている印象でした。帰宅後の子どもたちの様子を見て、保護者も安心したようです。

（保護者より） 本当に育児疲れしていてどこかに預けたい。自分の時間がほしい。子どもだけのキャンプなどに参加させたい、自然体験をさせてあげたい。けれども1番は先立つものがないことがネックで、経験させてあげられずにいました。

そんな時に今回のキャンプのお知らせを知り、参加させていただくことになりました。子どもたちはとても楽しく、「また行きたい！」ととても良い経験と思い出を作って、自信を持つことができたようでした。このような機会と体験をさせていただき本当にありがとうございました。





# 活動 紹介

## 〔取り組み〕 北海道わくわく子どもキャンプ・冬（小学生）

日時：2023年2月18日（土）～19日（日）

場所：キトウシ森林公園・大雪山青少年自然の家

共催：NPO法人大雪山自然学校

9月のキャンプに続き、今回は1泊2日で『キトウシ&美瑛子どもキャンプ』冬編を開催！前回同様に、ひとり親世帯や生活困窮世帯の子どもたちを含め、総勢20名の子どもたちが参加しました。

冬の自然を思う存分楽しんでもらえるように、北海道の魅力を最大限に活かしダイナミックな雪の中にベースキャンプを置きました。キャッキャと雪合戦をしてはしゃぐ子、一生懸命に雪のブロックを切ってイグルーをつくる子、温かいココアをみんなに配る子…自分なりの楽しみ方を見つけていく中で、自然とお互いの個性を尊重しあい、思いやる子どもたちの姿が見られました。また、秋のキャンプに続いてリピート参加した子は、お友達に巻き割りや火の焚き方を教えてあげたりするなどリーダーシップを発揮して、前回からの大きな成長を感じました。

保護者アンケートのなかでは、子どもに冬の楽しさを感じさせたい一方、冬の野外体験に関する知識や技術がないことや、冬の装備を揃えることにハードルを感じていたとの声も多くあり、今回はそれにお応えする形で冬でしか味わえない自然体験を子どもたちに提供することができました。

（保護者より）

- キャンプ中の出来事を自分から話してくれ、自分のことだけでなく他の参加者の子を気にかけることができた様子でした。
- 荷物を整理するのが苦手だと言っていたのですが、帰ってきたときにきちんとカバンに荷物を入れていた所に成長を感じました。キャンプへ参加する前は「用意するよー！」と声をかけてやっと用意するという感じだったので、前日に自分で次の日に着る服を出せるようになり、とても成長を感じました。何を用意するかもわかってきていて、スムーズにできるようになったと思います。



エゾ鹿角クラフト



雪の中の楽しみ方は  
意外とたくさんあります



薪割り・火おこしはお手の物！



# 活動紹介

## 〔取り組み〕 大阪わくわく子どもキャンプ（小学生）

日時：2023年1月28日（土）～29日（日）

場所：大阪府立少年自然の家（大阪府）

指導主管：大阪体育大学野外活動

大阪体育大学野外活動部との協働により、ひとり親家庭の小学2～6年生の子どもたち22名（15家族）を対象に1泊2日のウィンターキャンプを開催しました。キャンプでは、ウォークラリー、野外炊事、ハイキング、クラフトなどを実施しました。最初は子どもたちも緊張な面持ちでしたが、徐々に打ち解けていき、普段はなかなか体験できない活動に大興奮。

また、1泊2日の期間中は保護者にとってレスパイト（一時的休養）の機会になることも狙いとして実施。保護者からも“久しぶりにゆっくり過ごすことができた”といった感想がありました。

（保護者より）

- 子どもがとても楽しかったようで、たくさん話を聞かせてくれました。自然の中では子どもたちもストレス発散できるんでしょうね。
- 行く前は不安だったと思うのですが、行ったらとても楽しく過ごせて満足そうでした。（中略）私一人ではキャンプも不安で連れて行けなかったのでとてもよい機会でした。



大阪体育大学野外活動部の  
キャンプリーダー

時間	プログラム	場所	もちもの
10:20	開講式	駐車場	
10:30	入所	本館	
11:10	ゲーム大会	カドシツ	水筒、おしぼり
12:00	昼食	食事棟	お弁当
12:45	食材ゲット	食事棟	お弁当
14:35	夕食 〈野外炊事〉	食事棟	お弁当
18:20	ナイトハイ	駐車場	懐中電筒
19:30	1,2,3組入浴	大浴場	
20:00	就寝準備	部屋	
21:00	就寝	部屋	

1日目のスケジュール



野外炊事にも挑戦



開催当日は大寒波とも重なり、  
焚き火で暖を取る



大寒波なのにタンクトップ  
ハイキング後の絶景に感動

# 活動 方針

重い病気と闘う子どもたちに  
楽しい学びのチャンス。

小児がんなどの重い病気と闘う子どもたちは、コロナ禍でなかなか楽しい学びの機会に恵まれません。特に自宅療養中の子どもたちの中には、なかなか外に出ることができず、きょうだい以外の同世代の子どもたちとの交流も少なくなっている子もいます。

そこで、オンラインでさまざまなワークショップやバーチャル遠足を実施するほか、おうちでできる無料の探究動画を制作するなど、おうちにいながら楽しい学びや同世代の子どもたちとつながる機会をつくる活動を続けています。



# 活動 紹介

## 〔取り組み〕 探究ワークショップキャラバン

日時：①2022年12月4日（日）／②2023年1月15日（日）

場所：①愛媛県松山市／②香川県丸亀市

協力：①NPO法人ラ・ファミリエ（愛媛）

②NPO法人未来ISSEY（香川）

JEEFがライセンスをもつカリフォルニア大学で開発された科学・数学の体験学習プログラム GEMS（ジェムズ）のワークショップを全国の小児がんと闘う子どもやその周りにいるサポートスタッフに提供し、学ぶことの楽しさや、外の世界に興味をもつきっかけをつくるプロジェクトです。

愛媛では、病気と闘う子どもとそのきょうだいを対象に、クリスマスワークショップを開催。身の回りのいろいろなものが水に浮くか・沈むか調べる実験では、愛媛ならではののみかんが登場し、大人たちも含めて大盛り上がりしました。実験で使った道具はすべて寄贈し、今後も施設を訪れた子どもたちがくり返し実験し、探究が途切れないようにしました。



①みかんは水に浮く？沈む？  
身の回りのものを使った実験で盛り上がる



②小児がんの子たちに学習支援をしている  
高校生・大学生ボランティアへのトレーニング



# 活動紹介

## 〔取り組み〕 小児がんの子どもたちがつながる「あそぼう会」

日時：2022年8月～ 毎月1、2回

場所：オンライン

協力：認定NPO法人シャイン・オン！キッズ

助成：赤い羽根共同基金

コロナ禍で外に出かけることができない、あるいは同世代の仲間とつながる機会が少ない全国の小児がん患者とそのきょうだいが毎月オンラインで集まり、一緒に遊んだり話したりしながらつながっていく会を開催しています。

### <2022年度の活動>

8月 望遠鏡で遠くの景色を見てみよう！

9月 アナログゲームで盛り上がりよう！

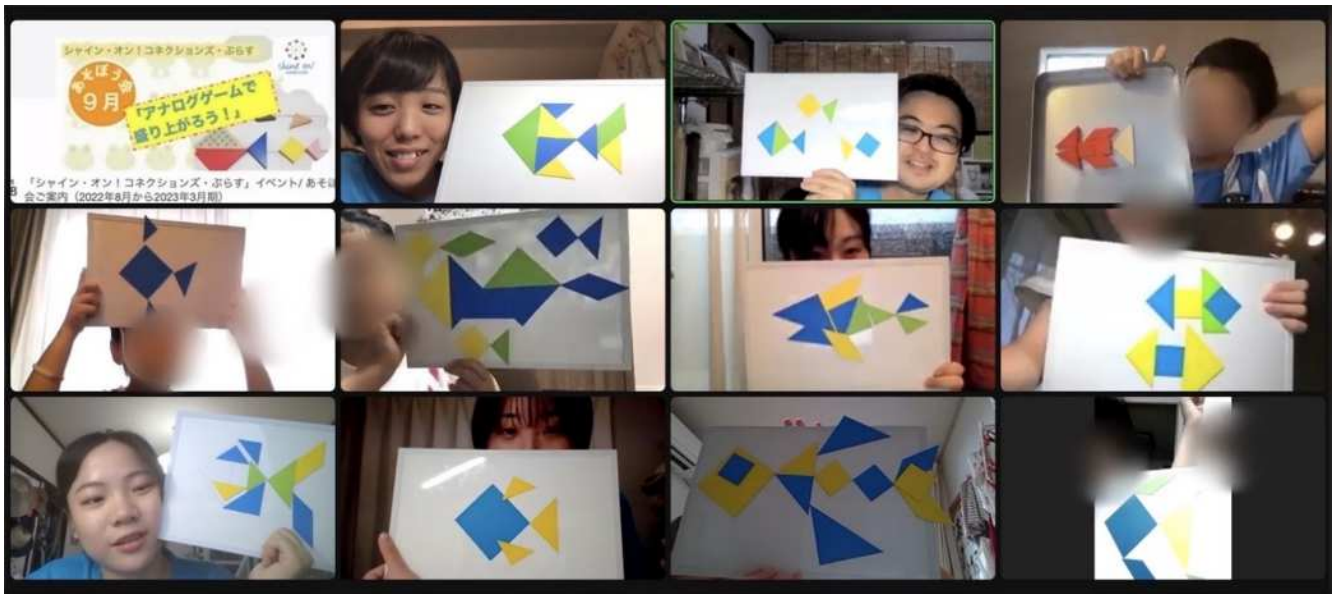
10月 ゆらゆらゆれるモビールを作ろう！／バーチャル紅葉ツアー@清里

11月 ふしぎな生きもの『へやねん』をつくろう！

12月 うみの万華鏡づくり

1月 オリジナルの『ほめ言葉カルタ』をつくろう！

2月 自分だけの砂時計をつくろう！／バーチャル雪国ツアー@妙高



自分が言われたら嬉しいほめ言葉を子どもたちが出し合い、スタッフが絵をつけたカルタ

同じ型紙を使って「さかな」を作ったのに仕上がりはバラバラ。人と違うことはおもしろいという体験。



自然学校などと協働してながら、子どもたちに美しい自然の風景を配信

# 活動紹介

## 〔取り組み〕 おうちで楽しむ無料探究動画の制作

日時：2022年9月～

場所：YouTube

助成：ベネッセこども基金

病気と闘う子どもたちに向けてさまざまなオンラインワークショップを展開していますが、当日の体調急変や治療プランの変更などで参加できなくなることが頻繁にあります。そこで、体調の良いときにおうちで楽しんでもらえる探究動画を制作して、HPで無料公開しています。

動画で紹介している探究はすべてGEMSプログラムの中から選んでいます。身近なものを使って、子どもたち自身が探究をつくるというGEMSの特徴を生かした動画になっています。



現在8本の探究動画がジャパンGEMSセンターのHPで公開されています



# 活動方針

## 大人こそ、自然体験を！

ストレス社会で日々がんばる私たち。自分自身と会話する時間、持っていますか？

『自然体験を通じた環境教育（= 人づくり）』を積み重ねてきた私たちは、ストレス社会に生きる大人にこそ、もっと自然に触れる時間を作ってほしいと願っています。

森という場は、SDGs・人材育成・健康・ワーケーション等多様な切り口で持続可能な社会の実現のために有効活用できる可能性を秘めています。

森は、私たちに元気や活力を与えてくれる場所。いつでも、あなたを迎え入れてくれます。

# 活動紹介

## 〔取り組み〕 森 de リトリート・特別編

日時：2022年11月22日（火）～23日（水・祝）

場所：清泉寮（山梨県北杜市・清里高原）

共催：公益財団法人キープ協会

「人と自然」をつなぐ試みとして、健康やセルフケアという視点で森を捉え、人も森も元気になるために私たちができることについて考えていく契機となることを願い、リトリートプログラムを企画しました。 ※リトリート：自分自身（心と身体のバランス）を整えなおすこと

「晩秋の清里の森で、自分と自然の声に耳を澄ます2日間」をテーマに、五感をフルに使って心と身体で森の時間を味わっていただく大人の自然体験。何もせず、ただ1人、寝転がっているだけで、なんて心地いいんだろう。また、多くの方にとって初めて“はだしで森を歩く”体験をしていただきました。10名の参加者には、ゆったり、森の中で自分自身を見つめる、充実の2日間を過ごしていただけたように思います。

心をリセットし、新しい自分で再スタートするために、森でリトリートしてみませんか！

※ 治療を目的としたプログラムではありません。



はだしで森歩き



お茶を飲む人

本を読む人

スケッチする人

2023年度は、さらに活動の幅を広げていきます。

皆さまからの会費やご寄付がこのような活動の支えとなっています。  
ぜひ、継続的なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



私たちは、環境教育による人材育成を通じて、社会的インパクト志向に基づく評価や事業づくりを目指し、様々な社会課題の解決とSDGsの達成にむけて力を尽くしていきます。



# 人を育てる、世界を変える。

かけがえのないこの地球上で、次の世代も心豊かに、暮らしていけるように。



公益社団法人  
日本環境教育フォーラム (JEEF: ジーフ) は、  
体験と対話を重視した環境教育で、  
持続可能な社会づくりを担う  
人材を育成する NGO です。

## [お問い合わせ]

◇ E-mail: [soumu@jeef.or.jp](mailto:soumu@jeef.or.jp) ◇ TEL: 03-5834-2897 ◇ 担当: 吹留純子、中野真里子、清水誠二